

左京区基本計画（第２期）素案への意見募集について

１ 意見募集の概要

- 募集方法** 左京区役所，岩倉・八瀬・大原・静市・花脊・久多出張所等での配架。
左京区役所ホームページに掲載。市政協力委員等への送付等
- 募集期間** 平成２２年７月１日～７月３１日
- 回答数** ７４人（郵送，ＦＡＸ６９人・ホームページ５人）
- ・男女構成 男性３２人（４３．２％）
女性３５人（４７．３％）
無回答７人（９．５％）
 - ・年齢構成 ２０歳未満 ０人（０．０％），２０歳代 ０人（０．０％）
３０歳代 ５人（６．８％），４０歳代 ９人（１２．２％）
５０歳代 ９人（１２．２％），６０歳代 ２３人（３１．１％）
７０歳代 １８人（２４．３％），８０歳以上 ３人（４．１％），
無回答 ７人（９．５％）
 - ・件数 ２３２件

２ いただいた御意見（概要）等

左京区にらす人々の「自然を愛で，歴史を学び，文化を楽しむ「豊かなところ」を大切に伝えます」という目標に関する御意見

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・左京区は「豊かなところ」を持った人が多い。抽象的だが，的を射ている。
・目標に賛成である。言葉は簡単だが，言葉の意味を掘り下げて実行していきたい。
・左京区民が実感できる目標となることを期待する。
・自分の足で歩いて自然を感じ，歴史や文化を楽しみたくなる目標である。
・左京区は身近なところに「豊かなところ」を育む環境が整った地であり，目標として賛同する。
・左京区は緑が多く，文化にも恵まれているので，住民としても幸せである。新計画の目標に沿って，更に進めていきたい。
・左京区は自然に恵まれ，豊かな歴史があふれる場所である。その中で生活している私たちは，これを後生にしっかり伝えていく必要がある。
・自然と歴史と文化を通して「豊かなところ」を育てる左京区政をぜひ実現したい。
・自然を守り育む気持ち，歴史を知ろうという気持ちを親から子へと伝えてほしい。
・「豊かなところ」を持ってない閉塞状態の世の中を変革するようなまちづくりを，この地域から率先して実現していくことが必要である。

・よい目標であると思う。(ほかに同種の御意見2件)
・左京区民であることに誇りを持ち続けたいと思う。そのためには、目標だけで終わらせないように、各人が自覚し努力すべきである。
・理念は左京区の特徴に合っている。ただし、区民は左京区に誇りを持っているものの、人とのつながりは希薄であると感じており、行政が人々をどう巻き込んでいくかが重要である。
・左京区は自然、歴史、文化面において優れているが、区民にはその自覚がない。左京区を宣伝する機会をもっと増やせば、「豊かなところ」を大切に伝える認識が生まれてくるはずだ。
・「豊かなところ」を育てるには、教育・休暇・教養の在り方と、子どもからお年寄りまで多くの人達の交流が大切である。そのことを念頭に置いたまちづくりをしてほしい。
・美しい目標だが、もっと実際の生活にあったものでなければならないと思う。
・コンセプトはよいが、具体策が見えない。区民が共通認識をもって取り組めるようにすれば素晴らしい。
・左京区の伝統、文化、自然環境を健全な状態で次世代に引き継ぐことは重要だが、実際には少子高齢化のため難しい。地域が協力して交流の場を増やすことも重要だ。
・この目標を日常生活の中で実践していきたいが、積極的に活動に参加するとなると区民しんぶん等の情報だけでは難しい。
・左京区にふさわしい目標だが、その実行には行政の力に依存するところが多い。
・左京区にあった目標だとは思いますが、具体的ではない。
・若者が集まれる行事や場所がないため、「豊かなところ」を伝えることができない。若者やお金が左京に多く集まるような工夫も必要である。
・この目標は左京区だけでなく、他の区でも当てはまるよい目標だと思うが、目標の達成はどうやって判断するのか。内容が抽象的で具体的でない。
・よい目標だと思うが、実際に実行できるかが問題。身近なところから自然を大切にしていかなければならない。
・目標の達成のためには、交流し、考え合うための場所が必要である。
・平凡で京都らしい保守的な目標だ。未来に向けてもう少し斬新で画期的な目標も入れてほしい。
・「豊かなところ」は、その地域で暮らす人たちが大切にされてこそ生まれるものだ。人が大切にされず、建物も守られず、文化を楽しむ場所も作られていないのに「豊か」という言葉が並ぶのは納得いかない。
・自然・歴史・文化があっても、そこに住む人の交流がなければ「豊かなところ」は成長しないのではないかと。具体的提案を考えてほしい。
・長く住むことで自然に形作られていく「ところ」は、目標とはいえない。
・「ところ」にまで踏み込んでいかななくてもいいのではないかと。

「取組指針１～美しい自然のまちづくり～」、「取組指針２～歴史・文化・学問のまちづくり～」、「取組指針３～ひとにやさしい温もりのまちづくり～」に関する御意見

◆「取組指針１～美しい自然のまちづくり～」について

自然環境

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・区役所、農協と小学校が協働し、北部地域で野菜作りの指導等、地域の人と交流する場を設けるとよい。	具体的取組例に、休耕田等を活用した農業体験の実施や市民農園の整備について記載しました。
・吉田山や大文字山の枯れ木対策は、美しい自然を守るうえで重要な課題。早急に対策に取り組んでほしい。	具体的取組例に、松枯れ木・ナラ枯れ木の処理や多様な樹種の植林について記載しました。
・野菜の直売所を多く作り、農業の活性化をしてはどうか。	具体的取組例に、地元産農作物の朝市の開催について記載しました。
・北部地域は、農林業の担い手が不足している一方、自然に恵まれた土地で農作業をしたい人がいる。猿鹿対策をするなど、受け入れ態勢の強化をしてほしい。	具体的取組例に、野生鳥獣による農作物や人家への被害の低減について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・鴨川、高野川などの美しい川をいつまでも美しくしたい。
・水辺のある風景を整備してほしい。
・美しい自然を失わないことが最高の財産である。
・区内のどこに行っても自然、きれいな花がたくさん見られる。畑や庭も、都の名残が残っていて情緒が漂っている。
・東山の自然を更に輝ける山として保全することは、住民にとっても大切なことである。もう一步踏み込んだ自然環境を作ることが大切だと思う。
・自然を守るために具体的に何をするのかが分からない。

まちの美化

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・道路のアスファルト化よりもまちの緑化を進めてほしい。また、ごみ問題は住民だけではなく、事業所や観光客にも協力してもらいたい。	具体的取組例に、屋上や壁面の緑化、ごみの減量、リサイクルなどの啓発について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・いつまでも住み続けられる美しいまちにしたい。
・主要な道路に愛称をつけることで、住民がその道路に親しみを持つことができ、道路の清掃やまち全体での美化活動を進められるのではないかな。
・自分の家の前と両隣の前までは、余裕をもって清掃するよう、皆で心がけてはどうか。高齢化が進み、自分の家の前の道路ですら掃除できない家庭もあるはず。
・家の前の道を少し多めに清掃するよう心がけ、道行く人にあいさつのできる、美しいまちにしてほしい。
・街路樹に花の植込みをすれば、誰が見ても気持ちいいし、町内で水やりができる。
・街路樹の根元に雑草が茂っていると、ごみのポイ捨てが増えるので、なるべく雑草を除くようにしている。ごみが捨てにくい環境づくりを心がけていきたい。
・左京区は山、川、自然が美しいが、コンビニ店の前は自転車、バス停にはごみがあふれている。まず区民の生活態度から見直すべき。
・左京区の観光の玄関口である出町柳駅周辺の美化を強く希望する。
・山間部の高齢化、人口減少の影響で、田畑、水田が放置された状態になっている。道路も少し脇道に入ると木々の枝が散乱し、清掃できていない。
・資源ごみについて、①家庭で小さめの袋に小分けしてから指定袋に入れて出す。(カラスに荒らされても散らかる量が最小限になる)、②菓子の袋や包み紙などは、細く折って量を減らす。(散らばらない)について区民しんぶん等で呼びかけてほしい。
・大型ごみ等の不法投棄対策として、年に1度でも無料回収日を実施してほしい。
・観光地付近に住んでいるが、ごみの収集が正午以降になるときがある。観光地に近い場所は収集時間を早くするか、回収箱を置いてごみが見えないようにしてほしい。
・指定日以外に出されたごみが収集されないまま放置され、景観を損なっている。早急に検討してほしい。
・大学周辺は美化の点でまだまだ問題がある。落ち葉の清掃等は大学でしてほしい。

歩きやすいまち

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・左京区は他の区に比べて歩道が広く、最も歩きやすいと思う。歩きやすいまちづくりより、車やバスの交通環境の整備、渋滞を減らすことが必要ではないかな。	具体的取組例に、バスの走行環境の向上に向けた違法駐車防止やバス専用レーンの遵守の啓発について記載しました。

・電柱等の地中埋設を進めることで、道路が広くなり、事故が減って、景観もよくなる。 ・電柱があるとベビーカーを押すのに苦労するので、電柱の地中化を進めてほしい。(ほかに同種の御意見 1 件)	具体的取組例に、電線類の地中化について記載しました。
・自転車のマナーが悪く、困っているので取り締まりをしてほしい。 ・学生と交通面でのトラブルが多いので、ルールを守って仲良くやってほしい。(ほかに同種の御意見 3 件)	具体的取組例に、自転車等の利用マナー向上とルールの遵守に向けた啓発や指導について記載しました。
・駅周辺は自転車の違法駐輪が特に多い。鉄道会社等と協力して、もう少し駐輪場を確保してほしい。 ・出町柳駅前に自転車がたくさん放置されている。駐輪場を整備してほしい。	具体的取組例に、放置自転車の撤去、民間自転車等駐車場の整備への支援及び利用促進について記載しました。
・歩道橋を撤去して歩道を広げてほしい。自転車、歩行人、バス待ちの人で通れないときがある。また、階段しかない駅が多いのでスロープを設置してほしい。(ほかに同種の御意見 1 件) ・狭くて暗い公園をなくし、歩道を広くし、街灯を設置してほしい。	具体的取組例に、電線類の地中化や歩道の段差解消について記載しました。
・遠出するときにバスに乗ろうにもバス停が遠く、待ち時間も長い。駐輪場もない。もう少し考慮してほしい。	具体的取組例に、民間自転車等駐車場の整備への支援及び利用促進について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・歩いて楽しい、走行して美しい車道、歩道の整備が区民生活を豊かで快適にする最も大事な活動だ。
・大文字がどんな場所からもよく見え、自転車で観光できるまち並みにしたい。
・自転車のマナーも気になるが、携帯を見ながら歩く人が多いのも気になる。
・自転車が車道を走るのは危ない。自転車専用レーンが必要。
・朝夕の時間帯に自転車専用レーンを作してほしい。スーパーに駐輪場があるように、公共施設やバス停、駅などに駐輪場が必要。
・駐輪場の整備、乗り捨て可能なレンタサイクル施設の増設、店舗への駐輪場設置の義務付け等を検討してほしい。
・市バスの路線系統を見直し、地下鉄との乗り継ぎをよくしてほしい。
・歩道や中央分離帯の除草作業をもっと頻繁に(年 4 回程度)行い、道路を明るく美しくしてほしい。また、大きな河川に散歩道を 1 km 以上作り、ベンチを設置してほしい。

・河川の遊歩道整備，幅員拡大や落下防止用の柵や遊具の設置，除草，草花を植える，子どもやお年寄りが簡単に利用できるスロープや階段の整備等を進めてほしい。
・人にやさしいまちを目指すなら，車に規制をかけたほうがよいと思う。狭い路地でも速度を落とさず，歩行者に対して横柄な態度のドライバーが多い。
・歩きやすいまちづくりが進むよう期待する。左京区民としてできることを考え，実行していきたい。
・10年後，自分が自転車に乗れなくなったら外出をどうすればいいのか心配になる。

自然と調和した都市基盤整備

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・道路整備は構想から完成まで長期間かかるので，常に基本計画に入れる必要がある。	具体的取組例に，北部地域における安全な交通を確保し，地域間交流を促すための道路整備について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・利便性を重視しつつ，環境に配慮した道路整備を早急に進めることが必要。
・景観保護のために，建物の外観規制を厳しくしてほしい。
・疏水沿いに散歩用の小道があり，その木陰を通ると涼しく感じる。もっと街路樹を増やすとよい。また，昆虫が集まる木を道や公園にたくさん植え，子どもが虫取りをできる環境を作ってみてはどうか。
・北山通りに高いビルが建ち並び，「妙・法」が見えにくくなった。規制が不十分なことが原因だ。
・高速道路のインフラ整備が他都市に比べて遅れており，活性化は難しい。
・公園や河川，緑が非常に多い反面，公共の温泉等がない。風致地区では，建ぺい率や容積率が厳しいので，幹線道路周辺の規制を緩和し，大型商業施設の誘致しやすい環境を整えてほしい。

消防・防災

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・花折断層が縦断しており，自然災害が心配される。地域の安全を守るために，もう少し力を入れてほしい。	具体的取組例に，地域の防災活動や救命講習への参加の促進などについて記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・自然災害が起こったときの対策をもっと強化してほしい。

◆取組指針2「～歴史・文化・学問のまちづくり～」について

歴史資源・文化財

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・左京区の歴史は素晴らしい。それを知らない人たちは、まず自分の目で見てよさを知り、勉強し、よくしてこうと自覚を持たなければならない。	具体的取組例に、区内の歴史・文化・古くから伝わる風習等に親しみ、広げ伝える区民向け講座の開催について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・左京区は色々な名所、旧跡があって感動的だ。
・文化的地域の継承発展は、区民の意見を反映したものであってほしい。
・歴史文化は常に変化しているものであり、学ぶ姿勢がなければ成立しない。
・下鴨神社は、世界遺産登録後、大きく変わっている。これ以上変化していくことを望んでいない。

伝統行事・伝統文化

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・伝統行事の紹介や参加の呼びかけをもっと大々的に行うべきだ。
・住民、地域、企業からの奉賛金が年々少なくなり、行政等からの補助なしでは神社の祭の継続が難しくなっている。住民に区から奉賛金の呼びかけをしてほしい。
・大文字の送り火の日は、マンション屋上を住民のために開放してほしい。

国際交流・観光

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・左京区の外国人登録者の国籍数が100を超えていることを知り、多国籍な区であることを実感した。外国人と地域の人がともに暮らすまちづくりは大切だと思う。
・左京区の自然、文化財の歴史的背景や見所について説明してくれる観光ボランティアが少ない。
・左京区は観光場所が多いが、他府県に比べて公衆トイレが少ない。
・京都は自然に恵まれ、学問に適しており、地方からもたくさん人が来る。また京都へ行ってみようという気持ちにさせることが大切。

文化・芸術

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・学生だけでなく、高齢者も低予算で文化・芸術を学べるようにしてほしい。 ・ふれあいまつりなどの文化交流ができる機会をもっと増やしてほしい。 ・気軽に「歴史・文化・学問」に触れる機会がほしい。広報誌等で催しを知っても、入場料、参加料が高く、機会を逃しがちである。	具体的取組例に、いけ花、煎茶、能、狂言などの伝統文化をはじめとする文化・芸術に気軽に親しむ機会づくりを記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・生涯学習で地元の京都の文化・歴史を学ぶことができ、数多くの催事で伝統行事に触れられるのは、この土地に住んでいるおかげである。
・左京区には、一般的にあまり知られていない文学作品がまだたくさんある。これらをまちづくりに生かしてはどうか。
・文化・芸術の施設に無料開放日を設けてほしい。
・北山や岡崎の文化地区は京都市の施設が主流で、区民のための施設が不十分である。
・文化は住民が守り育てたものである。文化を観光用としてまちづくりを進めるのではなく、住民の思いを酌み取ったまちづくりをしてほしい。

大学のまち

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・大学等の学識者に、学術文化の向上の協力をしていただければ素晴らしいまちづくりができると思う。	具体的取組例に、大学の研究者と区民と一緒に区の特性等を考える講座等の開催について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・左京区の大学生は、皆いきいきとしていて親切である。
・世界に誇れる技術や特許を、地元企業と大学で協力して作り出し、いける環境を整えるとよい。また、農林・伝統産業等の後継者不足を大学で養成していくのも重要。

・大学まかせではなく、大学生のアイデアを取り入れながら、区民が主体的に取り組むことが大切。
・京都大学のような豊かな環境を作ってほしい。
・大学と区民が協力することで、よりよい方向に進むであろう。
・大学の規模拡大とともに、移転が進んでいることに危機感を感じる。学生にも、学者にも、学校にも魅力のある地域になるための具体策を望む。建物の規制緩和による大学流出の防止や、若者を増加させる工夫が必要。
・大学で色々な取り組みがなされているが、一般的に知られていないことが多い。回覧をうまく利用して、高齢者にも分かりやすく伝えるべき。
・学生のマナー（自転車、ごみ）が悪い。日頃から声を掛け合っていくことで改善されるはず。
・6つの大学が連携して区のために何かをしたことを聞いたことがない。
・学生のまちを売りに住民を増やすのはよいが、個人又はマンション等の管理会社が町内会費を払うよう徹底してほしい。

◆取組指針3「～ひとにやさしい温もりのまちづくり～」について

子ども

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	対応
・まちの子どもたち、小、中学生を対象に自然学校をつくり、山間地で野外活動を体験させ、人間という立場を考える時間を作ることが重要。歴史や文化は、自然と時間の流れの中で身に付け体得するものだ。	具体的取組例に、子どもを対象とした自然体験や環境学習の機会づくりについて記載しました。
・少子化の進行と核家族化の課題しか挙げられていないが、現実には保育所の待機児童の増加で困っている人が多い。社員の子育てに理解ある企業への独自支援策を作り、「左京区の企業・事業所・大学は、子育てに理解がある」ということを前面にアピールしてはどうか。	具体的取組例に、待機児童の解消、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発について記載しました。
・子どもと同時に母親を守る必要がある。児童館を母親達も交流できるよう充実させ、子育てのストレスを上手に発散できる場にしてほしい。	具体的取組例に、子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）や児童館における子育て親子の交流の場の提供について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・子どもや高齢者が安心・安全に暮らせる地域社会を作ってほしい。私も「豊かなところ」を次世代に伝えたい。また、子どもや高齢者への声掛け運動や見守り活動にかかわっていきいたいと思っている。

・小中学校向けの土曜塾はよいと思う。幅広い年齢層からさまざまなことを学べ、貴重な体験ができる。
・八瀬地域の小学校は児童の人数が少ない。統廃合するか、近くの小学校と交流する機会があれば、友達が増えるし、競争心も生まれる。
・子どもに不寛容なまちは、「ひとにやさしい温もりのあるまち」とは言えない。
・子どもが楽しく遊べるスペースを、地域ごとに作ってほしい。
・以前の岡崎公園は子どもが遊べる広いスペースがあったが、今は野球やテニスでしか使えない。子どもの遊び場を取り上げないでほしい。
・子ども達が自由に使える施設がほしい。未来を担う子どもたちの声を入れた学校、地域づくりが必要。
・住宅地の道路は、車優先ではなく、子どもの遊び場となつてほしい。すべてが老人優先と思っている高齢者にも問題がある。
・よいものを長く使うことの喜びを子ども達に教える必要がある。

高齢者

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・高齢者の一人暮らしが増え続け、子どもは減っている。弱者を支援するとよい。また、これらの人達に対してボランティア活動等がかかわっていきたい。 ・一人暮らしのお年寄りが安心して暮らせるまちづくりを考えてほしい。（ほかに同種の御意見1件）	具体的取組例に、地域包括支援センター、民生児童委員、老人福祉員等による高齢者の見守り活動の実施と、一人暮らしお年寄り見守りサポーターの養成について記載しました。
・博識で話の面白い一人暮らしの老人が活躍できるような場を作してほしい。	具体的取組例に、知恵シルバーセンターやシルバー人材センターを通した高齢者の生きがいづくりについて記載しました。
・高齢者のためのまちの設備が不十分なので、もっと充実させてほしい。	具体的取組例に、認知症あんしんサポーターの養成や「高齢者にやさしい店」の拡大等による高齢者にやさしいまちづくりの推進について記載しました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・高齢者が自主的にボランティアグループを作り、活動できるようサポートしてほしい。
・高齢者でも参加できる簡単な体操広場、文化教室を近所に作ってほしい。高齢者の骨密度検査をしてほしい。また、高齢者が参加できる行事を作してほしい。
・公共交通機関を高齢者にとって充実したものにしてほしい。
・左京区は老人が多いので、区や町内の中で、優しさや温もりが必要。

障害のある方

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・素案の中でも、特に抽象的なので、もっと具体的に「家族支援に力を入れる」などの取組を盛り込めないか。	新たに具体的な取組例を6項目記載しました。

市民参加

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・地域活動の輪を広げ、より一層地域をよく知りたいと思う。
・北部地域に区民講座等ができる施設がない。場所が遠いと参加できる人が限られてしまう。京都アスニーや山科アスニーのような施設を左京区にも作ってほしい。
・地域の人々が集まる場所がなく、町内会の機能が果たせていない。情報を共有し、意見が出せる場を持ちたい。
・地域活動で説明等に使える設備（スクリーン、プロジェクター等）がほしい。
・自分達のまちは自分達で作る、守るという観点が大切。区民が本当に左京区を大切に思い、やりがいのあるまちづくりができるような、町内、学区内での組織づくりを、行政の方からも働きかけてほしい。
・地域の住民は、区政に対してあまりにも無知である。自治連合会も機能していない。現場でもっと市に協力できるような自治体作りに力を入れていくことが大事。
・左京区は自然に恵まれ、歴史や文化がたくさんある素晴らしいまちである。区民はもっと左京区の良さを知り、住民参加型のまちづくりをしていくことが大切。
・行政と住民が一体となった組織づくり等を考えていく必要性を感じる。
・自然環境の保護、生活環境の保全（都市計画も含む）、伝統文化の継続を実現するために、区内の観光社寺が積極的に地域活動等に参加する必要がある。
・区民の自治意識をもっと高めるために、地域連合会の組織の見直しが必要である。

交流・共生

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見
・子ども、高齢者、障害のある方の集まれる場所が不足している。児童館、集会所等を充実させてほしい。
・高齢者・障害者が地域の活動に気軽に参加できるような環境づくりが大切である。
・子どもからお年寄りまで、様々な年代の人が気軽に集える交流の場所がほしい。
・「人にやさしく親切に」を誇りにされている人ほど、実際は実行できていない。まず身近な近所付き合いができないといけない。
・地方から来る学生と、仲良くやっていけるように心がけたい。

・左京区をよくしていきたいとの自覚のもと，地域の方々と仲良くしていきたい。
・北部地域の小学校跡地などに，留学生や単身赴任者が安心して住める施設を提供してはどうか。地域内にもぎやかになる。
・北部地域の施設をなかなか利用できないときがある。
・左京区は国籍や出身地もさまざまな人が共生し，非常に住みやすいまちだが，家族向け物件が不足し，左京区に住みたいが仕方なく他の区や滋賀県に住まざるを得ない人も多い。家族向け物件を増やす政策を作り，公営住宅の整備等が必要。市原，静原辺りは新しい住宅地に適しているのではないか。
・まちづくりを考える視点を持つことと，いろんな世代，職業の違いをつなげていく仕組みづくりが大切。

この先１０年の左京区のまちづくりの中で、あなた自身がもっと良くしてほしいと思うこと、または、あなた自身がかかわっていききたいことに関する御意見

御意見に対する考え方

いただいた御意見につきましては、議論の参考にするとともに、計画の内容を実現していくに当たっての参考とさせていただきます。

いただいた御意見

- ・人の流出が少なく、若者がたくさん来るまちにしてほしい。
- ・若者が左京区に永住できるようなまちづくりをしてほしい。
- ・若者が住み続けられる、魅力ある左京区になってほしい。若者が働くことへの希望が持てるような提案を積極的に取り入れてほしい。子ども、高齢者にとってやさしい取組をしてほしい。区から市へ声を届けられるようになってほしい。
- ・低所得者の生活を守り、豊かな生活が送れるようにしてほしい。
- ・岡崎地区に、この先何百年・何千年と続く地下商店街を作ってほしい。
- ・岩倉に小学校（岩倉西小学校）を作ってほしい。
- ・空き家一帯を取り壊して、マンションを建ててほしい。
- ・すべての人が住みやすいまちになってほしい。すべては小さい事の積み重ねである。
- ・古い建物の保存、子どもたちの成長への手助けにかかわっていききたい。
- ・左京区住民自身が、歴史・文化・学問を身近に感じられるように、様々な取り組みをしていきたい。歴史・文化・学問に“絆”をも加えた地域振興を考えたい。
- ・２１世紀は文化の時代だ。文化や芸術、学問を通じて、区の発展のために交流を図るべき。このような交流の一助になればと考えている。
- ・久多学区の５０～６０歳代が、久多の１０年後の事を考え、自治活動を前向きに考えてくれている。
- ・現在久多学区内では、久多里山協会を設立し、５～１０年後を目指して若年層に呼びかけをし、地域の活性化に一生懸命努力している。
- ・学者、芸術家、宗教人は、その地域にとどまらない傾向がある。それを考慮したうえで、住みよい行政サービスのある区になればいいと思う。今は公共サービスが拡充されたようには思えない。
- ・個人の写真展や絵画展などを開催してみたい。

その他、計画全般に関する御意見

計画全般について

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・現在の基本計画との継続性が見られず、どのような左京区を目指すかについて一切触れられていない。	現在の左京区基本計画（第１期）の取組状況を追記しました。
・国内でも１，２を争うような広い面積を占めている左京区は、地域によりかなりの特徴がある。各地域の目標を取り上げないと、区全体の視野で考えられない。	地域別の目標を追記しました。
・漠然としていて意見が出しにくい。理念の羅列だ。区政は、住民が納得するものであってほしい。第三者による事業仕分けが必要。 ・抽象度の高い表現が多く、意見を出しにくい。 ・取組指針を実現するためにも具体的提案がほしい。	具体例等を記載し、区民の皆様との共汗で取り組める計画としました。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・これまでの行政主体の計画から、区民や事業者、大学等の協働で取り組む幅広い計画になったことを評価する。市全体の基本計画から大きくはずれることなく相互補完するものであってほしい。区民以外の外部の人々からの幅広い意見も取り込んでいくことで、よい次代のまちづくりができる。	新しい基本計画は、京都市基本構想を具体化する地域別計画であり、部門別計画である京都市基本計画と相互に補完するものとなっており、御意見の趣旨に合致していると考えます。 左京区ホームページ等を通じて区民以外の皆様からも意見をいただけるものとしました。
・この計画が今後も続くことを願う。 ・よい計画ばかりなので実行してほしい。	新しい計画は、平成２３年度から平成３２年度までの１０年間を計画期間としており、行政と区民の皆様との共汗の下、目標の実行に向けて、取り組んで参りたいと考えます。
・住民円卓会議の意見が反映されており、うれしい。 ・住民円卓会議が開かれているのは大いに結構。どんな計画でも、区民の声を大切に進めてほしい。 ・役職者の会議だけで決めず、左京区に住む働く人達の声をもっと拾いあげてほしい。 ・著名人でなく、一般住民の意見を聞いてほしい。いろいろと具体的に知りたいし、区政に参加したい。	計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催し、計画素案の作成に向けたアンケート、計画素案や計画案に対する意見募集を行うなど、住民の皆様への御意見を聞く機会を設けて取り組んでおり、御意見の趣旨に合致していると考えます。

・今後、基本計画を作成するときは、区民に広く意見を聞く場を持ってほしい。	
・取組指針1「美しい自然のまちづくり」が一番の課題。実施していくうえで、区民しんぶんの役割は大きい。 ・目標は、具体的な取り組みを通して実現していきたい。左京ボイス、町内回覧板などを利用して、住民に納得が得られる取組として周知徹底を心がけてほしい。 ・いずれも重要な項目だが、少子高齢化や核家族化のため、周囲を気遣えない区民が増加傾向にある。まずは区民に浸透させる方法・対策が必要。	美しい自然のまちづくりは左京区の大きな課題であると考えており、御意見の趣旨に合致していると考えます。 具体例等を記載し、区民の皆様との共汗で取り組めるよう努めて参りたいと考えます。 市民しんぶん左京区版等を通じて計画内容の周知に努めるとともに、区民の皆様との共汗で計画の推進に努めて参りたいと考えます
・歩きやすいまち、福祉への取組み、自然と調和した都市基盤整備に特に力を入れてほしい。高齢者への支援と子どもの安心・安全にかかわっていきたい。	行政と区民の皆様との共汗の下、それぞれの項目の実現に向けて、取り組んで参りたいと考えます。
・アンケートやワークショップで区民の意見を聞くだけでなく、もっと区民のマンパワーを利用してほしい。 ・予算の裏づけなしに長期目標を掲げるのではなく、様々なリスクをどのように軽減するかを計画することが必要。	高度成長が望めない社会状況を踏まえ、区民の皆様にも実行していただきたい取組も盛り込んだ共汗型の計画としています。 予算を踏まえた施策は、毎年度策定する運営方針に盛り込んで参ります。
・具体性に乏しく、抽象的。また、新計画策定の前に、現計画の評価・検証が必要。区役所は、住民に役立つ、協働して地域を作る場所であるべきだ。個人ができること、協働すること、行政がすることという分け方でない基本計画が大事。 ・取組内容が実行できれば素晴らしい。	具体例等を記載し、区民の皆様との共汗で取り組めるよう努めて参りたいと考えます。 これまでの左京区基本計画（第1期）については、平成20年5月に取組状況報告書により総括しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。 新しい計画は、区民の皆様にも実行していただきたい取組を盛り込んだ共汗型計画として策定しており、御理解いただきたいと考えます。 区民の皆様との共汗の下、計画内容の具体化に向けて粘り強く取り組んで参りたいと考えます。
・区役所がもっと権限と予算をもって、独自性を活かした行政ができたらい。	区役所の政策提案により事業に取り組むシステムを既に活用しており、その充実は今後の課題と考えます。

・ キャッチコピーと実態に乖離がある。今あるものの維持に力を入れていくことがこれからの時代には必要。	新しい計画の目指すところにおいて、左京区の魅力をそのままに未来へ継承することができ るまちづくりを掲げており、御意見の趣旨に合 致していると考えます。
・ 10年で人の心が変わるとは思えない。世界を平和にするためには庶民の生活も必要。	京都市基本計画において、いのちとくらしを守 り、安心・安全で幸福を実感できる「支えあい 自治が息づくまち・京都」を掲げており、左京 区においても左京区民の生活を考えて計画策 定を進めており、御意見の趣旨に合致してい る考えます。
・ 子どもにとって楽しいのか、若者にとって魅力的なの かが、事業・企画のメインにあるようにしてほしい。	子どもや若い世代の皆様にも魅力的な取組とな るよう努めて参りたいと考えます。
・ 自然、歴史、文化を守るだけでなく、次世代の左京区 を育てていくことに重点を置いて取り組むべき。 ・ 子どもを育み、若者を見守る視点に立ち、子どもや若 者が積極的に参加できる政策を立案、実践してほしい。	新しい計画の目指すところにおいて、左京区の 魅力を次世代に大切に継承する旨を掲げてお り、子どもや若い世代の皆様にも積極的に参加 いただける取組となるよう努めて参りたいと 考えます。
・ 人々の生活の変化、行動の変化などが次代の流れを創 造する。それらをリサーチし、この先10年を見るの と同時に、過去10年はどうであったかも見詰め直さ なければならない。	平成13年から平成22年を計画期間とする 左京区基本計画（第1期）については、平成2 0年5月に取組状況報告書により総括してお り、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・ 実行あるのみ。 ・ いつも感謝の気持ちを持って過ごしていれば、まだま だ知らない京都のことが自ずと分かってくる。 ・ 区の特性を踏まえて取組を進めてほしい。	区民の皆様との共汗の下、左京区の魅力を生か しながら、計画内容の具体化や計画の推進に取 り組んで参りたいと考えます。
・ 経済活動のみに重点が置かれ、心の面が置き去りにな っているのではないかと。場所を設け、交流してほしい。	計画の目標として豊かなところを大切に伝え ることを掲げており、御意見の趣旨に合致して いると考えます。
・ 区役所跡地の問題は、吉田学区民の願いを取り上げ、 「歴史・文化・学問のまちづくり」に沿うものであつ てほしい。移転後、旧庁舎を芸術系の大学や文化系の 研究者の発信基地として利用できたら素晴らしい。「左 京の自然」「左京の歴史・文化」の展示コーナーを設け てほしい。 ・ 旧庁舎は地域交流の場、文化芸術の発展拠点として絶 対に残すべき。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地につ いては売却するという方針に沿って検討を 進めており、支所や出張所を新たに設置するこ とは困難です。 市民活動については、岡崎、左京東部、左京西 部のいきいき活動センター（旧コミュニティセ ンター）、証明書については、市役所及び地下 鉄北大路駅の証明書発行コーナーや上京区役

・旧庁舎を、区民のための施設として残してほしい。(ほかに同種の御意見 3 件) ・交流し、考え合う物理的な場所が必要。跡地の一角を利用し、区民が交流し、集える場所にすればよい。(ほかに同種の御意見 1 件) ・区役所が遠い住民のために、支所として残してほしい。(ほかに同種の御意見 2 件) ・庁舎移転に伴い、吉田地域の振興について左京全般の取組みから漏れがないよう、配慮してほしい。 ・現区役所は、文化財にもなる価値ある建物である。松ヶ崎の新庁舎にかかる予算を最低限にし、南部のまちづくりを考えてほしい。 ・新庁舎は、広すぎ、高すぎる。また、駐車スペースが少ない。住民が利用しやすい開かれたシステムを望む。 ・先人達の贈り物として建物や風景、伝統を引き継いでいきたい。売却せず、いいものは残すべき。 ・古いものは壊さず、文化財として残すべき。住民が集まり、誇りとなる場所として大切にしてほしい。 ・市のフィルムコミッションで映画撮影に適した昭和初期の建物として登録されている建物を残してほしい。 ・旧区役所の有効利用、自然を身近なものとして守ること、まちの医療や福祉の充実にかかわりたい。主役は住民。意見を聞く場をもっと設けてほしい。	所も御利用ください。 新庁舎につきましては、限られた予算の中で、必要な規模と設備を備えたものとして整備しております。なお、新庁舎には、一定の条件下で区民の皆様が利用できる会議室やロビー等を設けます。 南部地域の目標として、地域の魅力を更に高め、暮らす人や訪れる人が交流・共生できる関係づくりを進めることを記述しています。 新しい計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催し、住民の皆様の御意見を尊重しながら取り組んで参りました。
・庁舎移転に伴い、松ヶ崎周辺の交通の便をよくしてほしい。	新庁舎への交通アクセスを充実させるため、3月26日から、四条烏丸～岩倉操車場前を運行する市バス65号系統の田中大久保町～修学院離宮道の経路を変更し、北大路通～松ヶ崎通～北山通とするとともに、庁舎移転時に「松ヶ崎泉川町」を「左京区総合庁舎前」に改称します。 また、四条河原町～松ヶ崎海尻町を運行する京都バス55号系統を左京区総合庁舎前まで延伸するよう京都バス株式会社に要請しています。 地下鉄烏丸線(「松ヶ崎」下車徒歩約8分)、市バス4号系統(上賀茂神社前行きは「左京区総

	合庁舎前」下車徒歩約３分，京都駅行きは「北園町」下車徒歩約９分），市バス北８号系統（「松ヶ崎海尻町」下車徒歩約６分，「高木町」下車徒歩約９分），市バス２０４号及び２０６号系統，京都バス３２号，３４号，３５号及び３７号系統（「高木町」下車徒歩約９分），京都バス１０号，１６号，１７号，２１号，２３号，４１号及び４３号系統（「高野泉町」徒歩約１２分）も御利用ください。
--	---